

【会議要旨】

平成28年度第2回

紀の川市長期総合計画本部会議 要旨

日時 平成28年10月17日（月）
臨時庁議終了後（9:50～10:10）

場所 紀の川市役所 本館3階 庁議室

構成員：林副市長（本部長）、貴志教育長（副本部長）、
西川市長公室長、森本企画部長、上山総務部長、中浴危機管理部長、
中邨市民部長、立具地域振興部長、上村保健福祉部長、岩坪農林商工部長、
福岡建設部長、森水道部長、稲垣教育部長、榎本議会事務局長、
中野農業委員会事務局長、宮楠土地開発公社局長、森協会計管理者

1. 開 会

2. 本部長あいさつ

外部委員で構成する審議会において、「全庁的な職員の意識高揚と、当事者意識を持った積極的な参画により、現場意見を反映した計画づくり」に努め、特に「若い職員の意見が反映できるような計画策定」に配慮するよう意見をいただいています。

本日、ご参会の本部員である部長のリーダーシップのもと、所属職員の積極的な参画に配慮いただきたい。

3. 議事

- (1) 小・中学生まちづくりアンケートの実施について【資料1】
- (2) 第2回職員ワークショップの開催について【資料2】
- (3) 策定作業班による現行計画の検証作業説明会の開催について【資料3】
- (4) 「紀の川市ワールドカフェ」の開催について【資料4】
- (5) 各種団体へのインタビューの実施について【資料5】

【事務局から議事（１）～（５）を一括説明】

- 議事の（１）小・中学生まちづくりアンケートの実施について【資料１】により説明
 - ◆ １０月１４日の定例校長会において、市内公立小学校の６年生、中学校２年生を対象に実施を依頼
 - ◆ 内容は、「住みよさ」や「紀の川市の印象」、「定住の意向」から、「紀の川市の強み」や「どんなまちになって欲しいか」について尋ねるアンケートを実施
 - ◆ 市の将来を担う、小中学生の純粋かつ斬新な意見の抽出を目指し、今月中に実施をお願いし、その後、集計・分析を行う予定

- 議事の（２）第２回職員ワークショップの開催について【資料２】により説明
 - ◆ 審議会委員から「若い職員の意見が反映できるような計画策定」に配慮するように・・・という意見を受けて、「第２回若手職員ワークショップ」を来週の２４日（月）に開催
 - ◆ 将来、市の中核を担う若手職員に市の最上位計画である長期総合計画の策定に携わっていただく前段の取り組みとして、「市の将来像」の設定に係る多くのアイデアやキーワードを提案いただく。また、日々の行政活動（＝各現場での具体的な取り組み）を通じて、総合計画における上位の目標である「将来像の実現」にどれだけ貢献しているのか・・・という考えを定着させるための最初のステップとして実施

- 議事の（３）策定作業班による現行計画の検証作業説明会の開催について【資料３】により説明
 - ◆ 「現状を十分認識されている」策定作業班長である各課長、策定作業員である各課のキーパーソンに対して、来週２６日（水）に現行計画の検証作業説明会を実施
 - ◆ 【資料３】の２枚目以降の「施策検証シート」を用いて、現行計画の取り組み内容や進捗度、得られた成果、さらに市民ニーズの変化などを踏まえたうえで、今後の課題を想定するなどの検証作業と、検証結果を新たな長期総合計画に反映させるための課題の抽出を目的に実施

- 議事の（４）「紀の川市ワールドカフェ」の開催について【資料４】により説明
 - ◆ 市民や市に関わりのある多くの方を対象に実施し、カフェのようになりラックスした中で「紀の川市の強み・弱み」から始まり、「市の将来像」の設定に係る多くのアイデアやキーワードをい

ただくため、11月27日（日）の午後1時30分から本庁舎7階ラウンジでの実施を予定

- 議事の（5）各種団体へのインタビューの実施について【資料5】により説明
 - ◆ 「新たな長期総合計画策定にあたっての現状把握に関するインタビューへのご協力をお願い」と題して、団体活動を通じて、紀の川市のまちづくりに参画いただいている、各種団体の方々に「まち・住民の状況」と「団体を取りまく環境」についてお尋ねし、現在の問題・課題を把握し、今後の取り組みの検討材料とするためインタビューを10月下旬から11月上旬にかけて実施予定
 - ◆ 対象団体については、施策目標ごとに多種多様な団体にご協力をお願いし、さらに、「紀の川市ワールドカフェ」への参加も併せてお願いする予定であり、対象団体を検討する際には、各部署で関係のある団体をご紹介いただきたい。

【中邨市民部長】

議事の（5）各種団体へのインタビューについて、対象者は各団体の代表者を想定しているのか？

【事務局】

各種団体の会合があれば、その場にお伺いしてインタビューを実施したいが、期間も10月下旬から11月上旬にかけて実施する予定であり、会合がない場合は、代表者とキーパーソンの方をお願いしたい。

議事（1）から（5）の実施については、本部会議にて承認

（6）基礎調査・市民意識調査報告について【資料6、7】

【事務局から説明】

- 議事の（6）基礎調査・市民意識調査報告について、まず【資料6】の「紀の川市 基礎調査報告書（初校）」の説明
 - ◆ 【資料6】の基礎調査報告書は、市政に関わる広範囲にわたる各種統計情報を中心に、経年比較や、近隣市である岩出市、橋本市、海南市、合併団体である田辺市との比較を行い、紀の川市の特徴や課題を分析したものです。
 - ◆ 膨大な情報量となるため、個々の内容の説明は省略しますが、

本部委員である各部長においてもご確認いただき、また、本日の本部会終了後、各部所属課長である策定作業班長あてに、今月下旬を目処に内容確認の依頼を行いますのでご協力お願いします。

- 続いて、【資料7】の「紀の川市市民意識調査報告書（初校）」を説明
 - ◆ 【資料7】の市民意識調査は、18歳以上75歳未満の市民、2,500人を対象に実施し、931人（37.2%）の回答を得られたものを集計、分析したものです。
 - ◆ 市民意識調査報告書に付きましても、膨大な情報量となりますので、個々の内容説明は省略しますが、先ほどの基礎調査報告書と併せて各部長においてもご確認いただき、また、本日の本部会終了後、各部所属課長である策定作業班長あてに、今月下旬を目処に内容確認の依頼を行いますので、ご協力をお願いします。
 - ◆ 【資料6】の「紀の川市基礎調査報告書」、【資料7】の「紀の川市市民意識調査報告書」の活用方法について、紀の川市の特徴や課題を分析し、市民ニーズや社会情勢の動向を把握した上で、新たな長期総合計画を策定するのはもちろん、各部課での具体的な取り組みや事業を展開するためにも、有益な情報となりますので、それぞれ共有・活用できるよう、事務局として検討いたしますので、ご協力をお願いします。

【質疑なし】

(7) その他

———特になし———

4. 閉会